

自由意見

行政に対する要望や意見について、自由を書いてもらったところ、1075件（「特になし」は除く）の要望や意見が寄せられた。

内 容	件数
1 家族	15
2 医療・健康	104
医療費	61
医療制度の充実・改善	25
病院の充実・改善	7
健康づくり・検診の充実	7
その他	4
3 介護サービス・介護保険制度	197
介護サービスの充実	52
介護保険料	81
申請方法・要介護認定の改善	14
介護予防の推進	8
介護職員の待遇改善	13
介護者に対する支援など	6
その他	23
4 認知症・成年後見制度	13
認知症について	11
成年後見制度について	2

5 住まい	150
高齢者福祉施設・高齢者向け住宅の充実	116
公営賃貸住宅への入居希望	12
家賃が高い	7
その他	15
6 就業・経済	143
就業	20
社会保障制度(年金等)の充実・改善	80
税金	36
その他	7
7 情報提供・社会参加など	75
情報提供	39
社会参加	28
心配ごと	8
8 高齢者に対する必要な施策や支援	281
都の福祉保健施策の充実・改善	68
高齢者施策のあり方について	103
子供・若者への教育のあり方について、若い人への支援について	19
治安・防犯対策の充実	9
まちづくり(バリアフリー等)	38
シルバーパス	15
その他	29
9 その他	97
調査内容・調査票などについての意見	50
その他	47
合 計	1075

主な要望・意見は以下のとおりである。

1 家族

- ・ 今自分が夫の世話をして、私が先にいなくなったら、私と同じように夫をみてくれる人がいるのか不安です。
- ・ 息子が寝たきりの障害者のため、高齢の私の身に何かあった場合のことを考えると国の福祉のあり方がとても気になる。例えば、親の身に何かあった時は優先的に施設に入居できるようなサービスなどがほしい。
- ・ 独身の息子の面倒を見ていると思っていたが、ここ4、5年の間に息子におんぶにだっこの自分がある。私のせいで結婚出来ずにいるのが可哀想。具合の悪い時は会社を早退したり夜薬をもらいに行ったり食事も自分で作ったりしている。行末が見えていて惨めな気持ちになる。老人ホームに入るほど裕福ではない。この頃息子は仕事が少ないと言うので心配している。

2 医療・健康

○ 医療費

- ・ 病気で入院した時、入院費が高いので自分の収入で入れるところがあるといい（医療保険で賄えないので。）。
- ・ 後期高齢者の負担金がとても高いのでもう少し安くして頂きたい。
- ・ 高齢者の医療費の自己負担が高過ぎるので、もっと負担がかからないようにしてほしい（収入がある時は少なく、無くなってから多くなるのはバランスが悪い。）。

○ その他

- ・ 医療について、きちんと相談できる機関があれば良い（信頼できる医師がいないので。）。

3 介護サービス・介護保険制度

○ 介護サービスの充実

- ・ 妻が要介護2であるため、ヘルパーが来る日数が多いと良い。老人世帯には、元気であっても巡廻して欲しい。交番等も注意して見てくれると良い。
- ・ 介護の制約がありすぎてヘルパーの意味がないし、時間も短い。どうにかならないものか。
- ・ 要介護者を看ている母子家庭のお宅では、看ている方が一人の場合の負担があまりにも大きすぎて、仕事も子育て、介護と、本人がたちゆかなくなってしまう。要介護者の年金が国民年金だと、収入面でもどう生活をして行ったら良いか、まして、介護専用の施設に入所する為には、金銭的に出せない。都内で安価な施設をたくさん作って欲しい。又、家族を支える、金銭的補助が有ればいい。
- ・ 娘は私の介護の為に会社をやめました。普通に会社へ行きながら介護をしてももらえるようにしてほしいです。
- ・ 介護保険の使い方など具体的なPRが不足していると思う。
- ・ 現在、デイサービス、デイケア等は手厚いと思われるが、訪問介護の現場にもっと力を入れて欲しい。事務的な手続きが面倒な割には、いざ介護をして頂く面では手薄いのではないかと感じている。
- ・ 以前通っていた介護サービス（通所サービス）は満足がいかなかった。コミュニケーションがとれなかった。心のケアサービス（老人対象）があればよいと思う。
- ・ 低額かつ年金の範囲で入居できる老人ホームを増やしてほしい。又、家で介護を受ける場合のサービスを充実してほしい。
- ・ 介護疲れによって、老老介護が成立しなくなった場合、夫婦で入居できる施設を充実させてほしい。

○ 介護保険料

- ・ 年金受給額に比べて、介護保険料、高齢者医療保険料等が高額過ぎる。
- ・ 介護保険は健康な場合は必要なく保険料だけとられるので納得いかない。健康な人に何年かに1回少しでも何らかの形で返してもらうという制度があってもよいと思う。
- ・ 税金、保健料、介護保健料の納める金額が高すぎです。民間住宅に住んでいる方の家賃も税金の控除の対象にしてほしいです。
- ・ 高齢者医療保険料は少額で済むので感謝していますが介護保険料の高額なのは驚きました。利用をすればそれなりの費用がかかるのですから、保険料はもう少し安くないでしょうか？
- ・ 介護保険を使わずに亡くなる人も多いので健康の度合により金額を変えて欲しい。

○ 申請方法・要介護認定の改善

- ・ 介護保険申請手続の書類が細かすぎて読むだけでも大変なので申請しやすい書面にして欲しい。
- ・ 介護保険料をポイント制にしてほしい。ほとんど介護保険を利用していない人は年金からの天引き額を減らす等、介護保険の利用料に応じて額の設定をしてもらいたい。

○ 介護予防の推進

- ・ 介護が必要な状態にならないよう、その前の段階で健康作りに力を入れてほしい。このような事に対する援助を国や、都がもっと行うべきだと思う。医療や介護にお金をかけるよりは健康な老人を増やすように、そして老人でも老人を介護出来るような、そんな取り組みをお願いしたい。

○ 介護職員の待遇改善

- ・ ヘルパーや介護職員は大変な仕事なので待遇をもっとよくしてほしい。以前よくしてくれた若い介護職員は結婚するといって職場をやめた。よい人が続けられるような給料や待遇にしてほしい。

4 認知症・成年後見制度

○ 認知症について

- ・ 認知症の家族のフォローを充実してほしい。（家族の意見）
- ・ ひとり暮らしの不安、認知症なのか物忘れなのか、現在の状態を判定してもらうには、どこに行って相談したらよいかわからない。

5 住まい

○ 高齢者福祉施設・高齢者向け住宅の充実

- ・ ケアハウスや有料老人ホーム等の施設の数が足りないと思います。敷金等、家賃の高額なものが多いようです。低額で入れるこのような施設を多く作っていただけたらと思います。東京都の福祉保健行政に期待しています。
- ・ これから高齢者が増える一方の社会になる。皆自分では迷惑かけないつもりで生きていると思うが、最後はやはり誰かの世話にならなければならない。安心して生きていけるように老人ホームも入居できるように充実してほしいと望む。
- ・ ひとり暮らしで、身寄りのない人は介護が必要になった時、特養に入りやすくしてほしい。
- ・ ひとり暮らしの人の住宅の確保、充実をしてほしい。
- ・ 高齢者対策として老人ホームの施設を増やしてほしい。自分の母が入居待ちになっていて、いつ入居できるかわからず不安である。

- ・ 高齢者用住宅をもっと東京都に増やしてほしい。
- ・ 高齢者住宅や元気な人達が集まって集えるような場所を増やしてほしい。
- ・ 特別養護老人ホーム等をもっと増やしてほしい。入るのが大変で、一日も早く入れる社会になってほしい。
- ・ 特養ホーム入居待機者を無くすよう、施設を増やして貰いたい。最近、独居老人の孤独死が増えているという報道を度々目にするが、特養ホーム入居待機者の増加と孤独死の増加は何れ相関性が出て来るのではないかと思う。
- ・ 高齢者向け住宅を沢山建ててほしいです。年金暮らしの人には家は貸してくれません。とても困っています。10年間都営住宅を申込んでいます当選しません。

6 就業・経済

○ 就業

- ・ 高齢者の働く場所を確保して欲しい。認知症予防のため高齢者がどんどん働けるといい。
- ・ 高齢になり、リタイアしても、まだまだ元気な人が沢山います。こうした人達の経験や、知識・労力を活用出来ないのは社会にとって大きな損失とされます。意欲のあるうちに、就労・ボランティア、相談員、軽労働等の提供出来る機会を作って欲しい。やがては、介護される側に回るのですから、その前に少しでも社会貢献が出来、安心して介護が受けられたらと思います。行政の方からキメ細かく問い掛けるぐらいになれば生き生きと、活性化した東京都になると考えます。例えば、個人ごとに提供出来る事項を登録したデータベースを作り、それとマッチした会社、NPO等を紹介し、高齢者ポイントカードと言ったシステムを作る事も一案だと思います。

○ 社会保障制度（年金等）の充実・改善

- ・ 今の年金だけではとても生活が厳しい。年金だけで生活できるようにもう少し上げてほしい。

- ・ 国民年金の支給額の上限が低すぎる。少なくとも生活保護者への支給額より高くすべきではないか。国民年金だけでは老後の生活保障など不可能でしょう。この現状を見聞きしている若い世代の人が国民年金に加入して来ないのは、むしろ当然だと思います。制度の改善を早急に実施すべきだと思います。
- ・ 老後を安心して住める保障制度がほしい。お金がある人は老人ホームに入れるが、ない人は入れない。若い人といっしょにできるサークル活動があればいい。同じ趣味がある方といっしょにできる活動があったらやってみたい。
- ・ 相談を親身になって聞いて欲しい。国民年金を納めた人の受給額が、生活保護費支給額より少ないのは納得できない。

○ 税金

- ・ 税金をもっと福祉保健の方に使用してほしい。
- ・ 子供たちのために年金から税金をいろいろひかれても仕方ないと考えている。子供たちの世代の方が大変なので子供たちの世代のための福祉を考えてほしい。

7 情報提供・社会参加

○ 情報提供

- ・ 広報の字が小さくてとても読む気にならい。サービスがあっても利用する人とならない人の差が大きい。
- ・ 自分で調べて申請しないと何もできない。どんなサービスがあるかも知らない。年をとってくると自分でやる能力も情報を探す能力も衰えるので個人宛に通知してくれるとありがたい。
- ・ 健康であるので、地域に少しでも貢献したいと、常々、思っています。市のボランティアの窓口に行ってもたいした話もなく、今にいたっています。自分に出来るボランティア活動の情報を、もう少し多くの機会を利用して提供していただきたいと思います。

- ・ 高齢者の福祉サービスに関する知識が乏しく十分な回答が出来なかった。福祉サービスについての簡潔な説明書があれば有難い。介護保険制度、年金の今後について危機感を抱いている。今後の世代の受給者が心配だ。
- ・ 高齢者が何でも相談できる制度ができていると思いますが、気軽に行ける場所等の広報をもっとして欲しい。
- ・ 都の行政、福祉の内容・種類がこと細く知らされていない。高齢者にでもできる行政、福祉の仕事があれば、働く喜びを感じる様な晩年が暮らせる。シルバー世代でも公務的に社会に貢献できるという実感を体験できる町づくり、社会づくりがしたい。
- ・ いろいろな事があると申請しなければいけないが、書類の説明文などの字が小さいので、もっと大きな字で表示してほしい。見るのに時間がかかり（ルーペなどでは）頭に入らない。
- ・ 高齢者のみの家族や独居者に対して、地域の福祉員が定期的に巡回、見守り等の支援する制度を充実して欲しいと思う。申請する事で福祉が開始されるが、その方法や申請する内容がわからない方が多いと思うので、相談員等が巡回して希望等を調べて頂ける様になったらと思う。

○ 社会参加

- ・ 地域の企画等（講演会）への参加が少ない。高齢者がもっと互いに参加しやすい講座や企画を増やしてほしい。若い人達をもっと育てて将来に備えての準備をすれば、サークル活動も円滑に行われるのではないかと思います。
- ・ 経済的に余裕のある生活をしたい。（外出ももっと出来るので）自由に草とりなどが出来る場所があったらよい（少しでも報酬があるとよい）。ボランティアの仕事があったらよい。代筆みたいのがあったらよい。図書館などでゆつくり本などが読めたらよい。

8 高齢者に対する必要な施策や支援

○ 都の福祉保健政策の充実・改善

- ・ 都民との接点が少ない。都の出張所が都内になく、ふれ合いがない。個人の声を吸い上げる場所や情報の提供がないので、もっと密接な関係ができるといい。何かあってもどこへ持って行っていいか解からない。
- ・ 福祉に対して税金の使い方にもう少し力を入れてほしい。地域によって福祉の充実に差がありすぎる。もっと平等にしてほしい。同じ税金を払っていて、サービスのあり方が違いすぎる。
- ・ 老人ホームの順番待ちの話をよく聞く。介護制度、老人ケアをより、充実されるよう望む。
- ・ 将来、自分の健康と認知症等を考えた時に、息子の世話にはなれないと思います。それには安価な施設とサービスの充実が必要だと思っています。宜しくお願い致します。
- ・ 高齢者のみの家族や独居者に対して、地域福祉員の定期的な巡回、見守り等を支援する制度を充実して欲しいと思う。また、申請する事で福祉が開始されるが、その方法や申請する内容がわからない方が多いと思うので、相談員等が巡回して希望等を調べて頂けるようになったらと思う。
- ・ 後期高齢者保険は改善して欲しい。（徴収しなくてもよいのでは？）グループホームに入居したい方々が費用を支払えずにあきらめているのに子供もいる生活保護の方が都の負担により入居できるのは不公平で矛盾だと感じる。

○ 高齢者施策のあり方について

- ・ 一人になっても、見守ってくれる行政をお願いします。
- ・ ひとり暮らしのため声をかけてくれるボランティアの人、民生委員の人などが交流して頂ければ良いと思います。

- ・ 高齢者は弱い立場なので、働くことも出来ない人が多く、わずかな年金でやりくりを日々して生活しています。出来るだけ負担を少なくして安心の出来る老後の保障を願いたい。
- ・ 比較的財政力のある東京都が、高齢者対策の分野でも、国の施策をリードするような努力を続けてもらいたい。大都市には、高齢化が進んでいる地方とは異なる高齢者問題（深刻な孤立化の問題など）があり、一方では元気なリタイア世代が多いことなど多様な側面があるので、独自の先駆的施策の実施に努めて欲しい。
- ・ これからますますひとり暮らしの人が多くなると思う。ひとり暮らしの支援の充実を望む。国より都、都より区、区より町とより身近な所から支援ができるように望む。
- ・ 財源に限りがあるのだから、本当に困った方、不自由な方を重点に使用してほしい。
- ・ 福祉にかかる比重も資金もだんだん都の行政から遠のいてゆく感があります。これから増えていく高齢者や、今の行政から目にみえない弱者に対して、きめ細かい対応を切に希望します。
- ・ 孤独にさせない（見守り）制度が欲しい。

○ 子供・若者への教育のあり方について、若い人への支援について

- ・ 福祉も大事であるが、これからは子供に関する、援助、育成を手助けしてほしい。子供手当等の金額のバラまきは必要ないが、これから育っていく人達の為に、援助、手助けを手厚くしてほしい。

